



ヒバクシャ地球一周 証言の航海
Global Voyage for a Nuclear-Free World
Peace Boat Hibakusha Project

PEACE
BOAT

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場
3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561
FAX: 03-3363-7562
<http://www.peaceboat.org>

2025年3月

ピースボート Voyage120 「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」
～改めて被爆者の声に耳を傾け、記憶をつなぐ～

プロジェクト概要

●概要

NGOピースボートは、被爆国・日本を本拠とする国際NGOとして、核兵器の非人道性を世界に訴えることが世界的な使命だと考えています。2008年より「ヒバクシャ地球一周証言の航海」を行い、これまでに170名以上の被爆者とともに地球を周りながら、「核なき世界」への国際世論を高めてきました。

今回の航海では、被爆者2名（広島での被爆者1名、長崎での被爆者1名）が世界18カ国21寄港地を訪れます。2017年のノーベル平和賞受賞団体ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の世界中のパートナー団体とも協力して、世代と国境のボーダーを越えた継承とアクションに繋がります。

これらの参加者は、日本政府の「非核特使」として活動します。

●趣旨

戦後80年を迎える2025年、改めてヒバクシャの声に耳を傾け、国境や世代を越え、戦争を知る世界中の人たちと繋がり、過去の記憶をつなぎ未来の平和を訴えます。

2024年、核兵器のない世界を目指す草の根からの運動と被爆体験の証言によって核兵器使用の手を抑えてきた並々ならぬ努力が評価され、日本原水爆被害者協議団体（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。この受賞をきっかけに、被爆の実相を世界の多くの人が直接聞き、核兵器と人類が共存できないという国際的な世論を高める大きな機運となるでしょう。そして、被爆者や世界の核実験被害者の経験を中心にして、核兵器禁止条約の世界的な支持も広げてゆかなければなりません。

●期間

2025年4月23日（水）～2025年8月7日（木） 横浜発着 計107日間
（ピースボート・地球一周の船旅 Voyage120）

●主催団体

ピースボート

●参加被爆者

伊藤正雄（広島被爆）
倉守照美（長崎被爆）
福島富子（長崎被爆／横浜からシンガポール）
メアリー・ディクソン（ベルゲンからニューヨーク）
渡辺淳子（広島被爆／ニューヨークからプンタレナス）

●後援

広島市 / 長崎市 / 平和首長会議 / 日本原水爆被害者団体協議会
公益財団法人広島平和文化センター / 公益財団法人長崎平和推進協会